

くろするろ〜ど

がつがつぱいごう
2017/7・8月合併号

会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ 仲良く助け合っ
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、ねが 活動
をつづ 続けています。

〜サロン月間カレンダー7・8月〜

「難攻不落の小田原城へのバスの旅」

■サロンでお茶会

きんようごご 金曜午後ボランティア とうへいようこ 藤平洋子

7月7日(金) 午前10時30分〜12時
絵手紙教室 (費用100〜200円)

7月14日(金) 午前10時30分〜12時
生け花教室 (花代500円) 要予約

7月21日(金) 午前10時30分〜12時
ダンス教室 託児室にて

7月28日(金) 午前10時30分〜12時
ダンス教室 託児室にて

―「サロンの集い」にむけて6月からフラダンスを練習しています。興味のある方はどうぞ!

- ★対象はサロン学習者またはボランティアの方。
- ★申込みはサロン事務局まで。

■ボランティア勉強会

テーマ: 「日本語のここがむずかしい!」

―アンケートをもとに話し合います―

日時: 7月19日(水) 午前10時〜12時
場所: サロン3階 第1会議室 (参加は自由)

■「クール・エコの集い」

浴衣を着て打ち水をします。

日時: 7月29日(土) 午後2時サロン集合
場所: フォーリスけやき広場

★浴衣を持っていない方は200円で借りることができます。

■「よさこい in府中〜民謡流し」

浴衣を着て民謡を踊ります。

日時: 8月26日(土) or 27日(日) の夕方
場所: けやき並木通り

★上記2件の申し込みと詳細は事務局まで。

国際交流サロンのバス研修に参加しました。参加者は学習者とその友人・家族が21名、ボランティアが16名、市事務が1名の総勢38人のバスツアーでした。

富士山が前方に見えたり、右手に見えたりしているうちに小田原城に着きました。バスの中では「①名前、②国、③好きな食べ物・嫌いな食べ物」と書かれたカードを回して、自己紹介をしました。小田原城の天守から周囲を眺めると、南は相模湾、北西は箱根の山々、東には酒匂川あり、城は自然の壁と堀に囲まれていることがよくわかります。難攻不落の城ということを実感します。目の前の高台は豊臣秀吉が築いた一夜城という城があったといひます。城跡を見に行きたいと思ひました。昼食の時間は、持参したお弁当を食べながら会話がはずんでいました。和風の「清閑亭」はより一層旅のムードを盛り上げてくれたようです。楽しい時間はあっという間に過ぎ、なごりおしさを感ぜながら、帰路につきました。7時間の旅は無事に終え、自然と歴史を味わうことができました。

参加された皆さん。準備して下さった皆さんに感謝します。ありがとうございました。



世界の文化

「バス旅行」

安 玥嬌さん(中国)

久しぶりのバス旅行です。日本に来てバス旅行は初めて、とても嬉しいです。昨日は雨が降っていて、心配しましたが、窓から外を見ると、なんと天気が晴れて、安心しました。

バスの移動途中で皆は自己紹介をしました。「どこから来たか、好きな食べ物と嫌い食べ物」を話しました。また新しい友達もできて、とても嬉しかったです。

遠くに富士山が見えて、わくわくしました。頂上に雪が残っている富士山はとても綺麗です。

目的地は小田原城址公園です。小田原城歴史見聞館のマルチメディアたくさんの歴史を知ることができました。ボタンを押すと画面上に映像が映されて、面白かったです。特に天守閣は非常に深く感銘を受けました。天守閣の位置はとて高く、壮大な白い建物です。中でたくさん甲冑や絵などを展示してあるのを見ました。そして、武士が甲冑を身につけているのを見ました。その甲冑を見て、勇ましいと思います。天守閣の屋上から相模湾が見えます。とても綺麗です。外でたくさん若い人はコスプレをしました。時間が少ないので、私たちはコスプレできませんでした。

昼食は清閑亭で食べました。皆は自分でお弁当を作って、持ってきました。昼食の時、皆作ったお弁当をたくさんもらい、とても美味しかったです。機会があれば、サロンの皆とも一度旅行に行きたいです。



小田原城前で集合写真

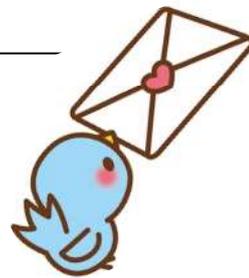
「皆さんに感謝の言葉」

グエン バン クアン (ベトナム)

こんばんわ。

わたし Quang と申します。ベトナムから参ります。私は働いている会社は東芝です。12月に日本へ来ました。今、半年日本に住んでいました。来週私は国へ帰ります。今日は、私の最後の日です。私にとって、日本語は難しいです。たぶん、皆さんも同じですね。府中サロンに日本語の勉強する時間が短いけど、たくさん勉強しました。そして、私は皆さんと公園を散歩したり、府中のまつりを参加したりしました。皆さんは親切だし、熱心だし、優しいです。一緒に楽しい時間がありましたね。日本の生活を慣れるようになりました。最後に皆さんに感謝の言葉を申し上げたいと思います。特に私の S先生です。また近いうちにお会いします。日本が好きですので、将来、日本へ帰るでしょう。

ご清聴ありがとうございます。



約半年間、サロンで日本語を学習したクアンさんは、東芝府中での研修を終えて6月2日に帰国しました。この文は、5月26日の最後の学習会で挨拶したものです。

(編集部)

「日本が好きです」



ミャーミャー ウィンさん(ミャンマー)

みなさま、こんにちは。私の名前はミャーミャー ウィンです。主人と一っしょに来ました。主人は東京外国語大学の言語学研究者です。私たちは、日本に2回きています。さいしょにきたのは6年前でした。その時は3年住みました。日本語はぜんぜんわかりませんでした。だから、日本語の勉強をこのサロンではじめました。2回目の来日は去年の10月でした。今度は今年の7月までいます。私は日本の国が大好きです。だから、もう一度きたいです。日本人たちはとても親切でやさしいです。日本語がわからないことがあったらすぐ教えてくれます。

日本はきれいな国です。日本の国は4つの季節があります。私の一番好きな季節は秋です。ミャンマーには3つの季節があります。夏と雨期と冬です。ミャンマーの夏は日本の夏より暑く、時々40度以上にもなります。ミャンマーに雪はありません。

日本はミャンマーに比べて生活費が高いです。でも、いつもいろいろな新しいものがあります。とくにアイフォンは次々に新しいものが出ています。日本の食べ物では、おそばが大好きでよく食べます。

さいごにいいたいことは富士山と桜がとてもきれいだと思うことです。井之頭公園で見た桜は本当にきれいで写真をいっぱいとりました。でもミャンマーの、金色に光るパゴダもとてもきれいです。ヤンゴンにはパゴダがいくつもあって、みな金色に光ってきれいです。それに…物価がとても安いです。日本の方、ミャンマーにきてくれるだけでも Welcome to Myanmar です。



金箔で飾られた石の上に立つキャイティヨパゴダ



外大校内の桜

「わたしのくにアフガニスタンの ゆうめいなこくりつこうえんのしょうかい」

アミリー アーマド ファイサル(アフガニスタン)

バンデアミールこくりつこうえんは、バーミイヤンしにあります。アフガニスタンのひとつのこくりつこうえんです。それはむつつのふかくあおいみずうみです。それは、しぜんのダムによってわけられている。みずうみはアフガニスタンのヒンドークシヨやまにあり、ゆうめいなぶつきょうのバーミイヤンのにしがわやく 3000 メートルのひょうこうにいちしています。バンデアミールは、こだいとしバーミイヤンのほくせいにやく 75kmにいちしています。バーミイヤンのたにとおなじように、それらはアフガニスタンのかんこうのちゅうしんちであり、せかいかくちからまいとしなんぜんにんものかんこうきやくをあつめています。

バンデアミールのむつつのみずうみは、

- ①バンデゴラマン (どれいのみずうみ)
- ②バンデカンバ (カリファーアリのどれいのみずうみ)
- ③バンデハイバット (そうだいなみずうみ)
- ④バンデパニール (チーズのみずうみ)
- ⑤バンデプディーナ (やせいのミントのみずうみ)
- ⑥バンデズルフィカー (カリファーアリのけんのみずうみ)



③バンデハイバット



⑤バンデプディーナ

わたし「私のふるさと紹介」② (北海道)

月曜午後ボランティア 川口哲也

バンデハイバットはむつつのうちさいだいのもので、もっともふかいもので、へいきんのふかさはやく150メートルです。

アフガニスタンのなかほどにあるハザラジャットちいきは、ふゆにはこっかんで、きおんが-20どにまでさがるため、バンデアミールみずうみはおもにばんしゅんとなつのかんこうちです。

はるとなつにはポートライド、すいえい、たき、みずうみのダークブルーのいろをたのしむことができますが、ふゆには2メートルいじょうのこうりのそうでもっともふかいみずうみのまんなかをあるくことさえできます、ゆきだるまをつくることのできる。

せかいにそのようなばしょはほとんどないので、もしあなたがチャンスをもっていれば、このすばらしいばしょにいつてください。



(絵手紙)



ファツマ (トルコ)

今回は、北海道の季節と飲食物の紹介をさせていただきましたが、今日は北海道の観光地の紹介をしたいと思います。

まずは北海道の豊かな自然を楽しむ景勝地の話から。北海道は広大なので自然豊かな場所は他に比べ多いと思いますが、その中でも私が一番おススメしたいスポットは知床半島です。その理由は、もちろんここが世界遺産に登録されている素晴らしい地域であることに加え、観光客がここを訪れる季節によってこの地の自然の楽しみ方が違ってくる、つまり知床半島では多くの自然の楽しみ方がある、そういう優れた観光資源を有する地域だからです。

例えば、夏には半島を遊覧船で周遊し、手つかずの自然が残る風景を船上から観て楽しむことができます。そして運が良ければ野生のヒグマもその時に見ることができます。また、クジラやイルカのウォッチングツアーがあり、その際にはクナシリ島をかなり間近で見ることができます。それから、知床半島をある程度までトレッキングすることも可能です(その際にはエゾシカやキタキツネに遭遇しますが、不運にもヒグマに遭遇することもあるようですから気を付けなければなりません)。

そして秋は何と言っても知床半島の紅葉を楽しめます。知床の原生林の紅葉は凄いとしか表現できません。個人的には小さい頃見た「大魔神」という映画にでてくる山々の紅葉のシーンを、この紅葉時期にトレッキングしながら見る知床の山々の景色と重ね合わせワクワクするのがとても快感です。

そして知床の冬は流氷がお勧めです。流氷そのものは、冬になると北海道の東岸のほぼ全域に接岸し、何も知床だけに起こる特別な現象ではありません。しかし知床半島の接岸風景には他とは違う格別な趣があります。しかも知床では流氷の上を歩き回る流氷ウォークなるツアーが行われています。みなさん、これに参加してみたいと思いませんか。実は私もまだこれは未体験なのです。

ここで、ちょっと話が横道にそれますが、20年程前に私が南米のアルゼンチンで暮らしていた頃の話です。その時、アルゼンチンの南のパタゴニアという地域にある世界遺産の大氷河へ観光に行きました。そこでも氷河の上をトレッキングするツアーというのありましたが、残念ながらその時、私には時間がなくてそのツアーに参加することができませんでした。そのことが今でも心残りです。アルゼンチンは遠い国で、そうたやすくは行けません。それならばせめて同じ世界遺産の知床半島に行って同じ氷の上を歩き、それで20年前にできなかった「氷河ウォーク」の埋め合わせをしたいと常々思っているのです。

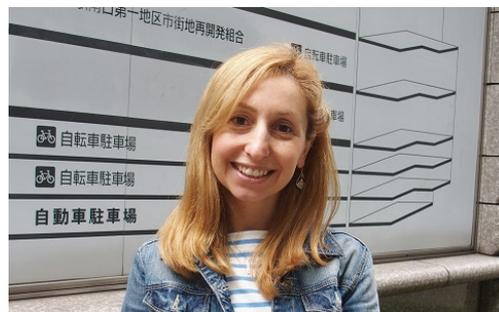
そういう私にとってはあこがれの流氷ウォークツアーです。みなさんも参加すれば、ひょっとしたら江戸時代に、まだ北海道が蝦夷地と言われていた頃、和人やロシア人と交易のため流氷の上を歩いて千島列島を往来した当時のアイヌの人々の気分が味わえるかもしれませんよ。なんととっても知床からクナシリ島は目と鼻の先にありますからね。



(次回は、知床の温泉と食事の紹介をします。)

皆さんよろしく◇学習者紹介

ファツマ カラクシュさん (トルコ)



「桜まつりでサロンを知りました」

トルコに旅行できた日本人のご主人とは、共通のお友達を介して逢い、それがご縁で結婚することになりました。

日本での結婚式のため一度来日し、すぐにトルコのイスタンブールに帰り、そこでウエディングドレスを着て披露宴をしました。そして、日本に戻ってきて、打掛を着て、ご主人も羽織袴での披露宴をしました。日本の着物は大好きですが、打掛はとても重かったそうです。

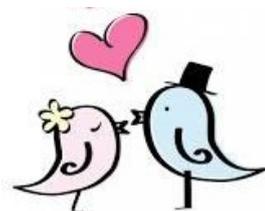
結婚するまでは、大学で学んだコミュニケーション学を活かし、新聞やテレビでジャーナリストとして仕事をしていました。

兄弟はお兄さんが5人の末っ子のお嬢さんだそうです。日本人と結婚して遠い国に行くことを、ご両親は最初心配したそうですが、日本でご主人のご家族と逢い安心なさったとのことでした。

日本で、トマト一個いくらで売っているのを見て、野菜の高いのに驚いています。トルコでは、最低でも1キロ単位で売っているそうです。

「大丈夫?」「本当!」という日本語が好きな、とても朗らかで、フレンドリーな性格のかたですから、お友達もたくさん出来るでしょう。

(堤林)



勉強会報告

～第 83 回～

わたしたち
「私達のクラスはこんな事やっています！」
～学習 5 部会の話し合い～

けんしゅうぶかい かようゆみこ
研修部会 萱生由美子

6月12日の勉強会は19名が参加しました。前半は学習5部会に共通するボランティアと学習者の人数バランスとマッチングの難しさについてです。各部会の代表者から報告や問題提起があり、それに対しての意見が出されました。主なものは以下の通りです。

(学は学習者、ポはボランティアの略)

- 人数バランスに増減の波はあるが、新学期からは学がやや多く、ほとんどの部会で1対2、1対3（金・夜では1対5もある）のマッチングをしている。
- 複数の学の組み合わせはレベル別が良いのか、同じ国の人同士が良いのか迷う。グループ学習はどんな進め方をしたら良いのかを知りたい。
- 統計的には長く続く人は少数で、短期間に入れ替わる人も多く、学が来なくなってもポはあまり気にする必要はない。
- 新規の学の8割が全然話せない人なので、なるべく1対1で対応したいがなかなか難しいのが現実。
- 地域の日本語教室は1対1が効率的であり、ポが専門的でなくても対応出来る。ポと学の人数のアンバランスはいつもの事であり、一時的な1対2、1対3は当然の事だが、初級者はなるべく1対1が望ましい。
- 最初は、本人のニーズや環境を引き出す為に、学と同じ母語話者の組み合わせを利用したら良い。

- 学とポの情報をもとめておくことが必要。
 - 学のニーズを測るのにポの使える言語登録があれば役立つ。また学に活躍する場を与えることも大切。
 - 登録用紙は多言語表示の用紙を作ることを計画中で、事務局でなくポが初日に書き込むことを検討している。二回目からは、ポが本人の環境やニーズを付け加えて書き込んでいけば良い。
 - 後半はサロンの問題点や教材などについての意見が出されました。
 - サロンの学は1、2級を目指していても話せない人が多い。
 - ほとんどの学の目標は“話せるようになること”なのに、話せる人が少ないのは何故か。「やさしい日本語」を目指した『にほんご、これだけ!』という新教材を研究してみてもは。
 - サロンのポを見ていると「はなす・きく」がよろそかになる傾向がある。学習能力の低い人向けの文法項目を減らした「やさしい日本語」の教材は未だ開発中。
 - 場面会話を中心とした『できる日本語』などの、いまある教材を活用したら良いのでは。
 - 生活に密着した語彙を早くから教えることが大切。
- 以上、参加者全員で活発な意見交換がなされました。いくつかの提案はこれからのサロンの大きな課題です。



私の☆つぶやき

「あなた キミ アンタ おまえ」

すいようご こ
水曜午後ボランティア 小林けさ子

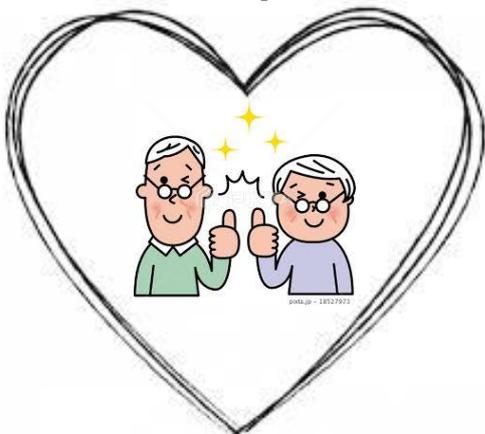
わが亭主、時と気分によって、わたしへの呼びかたが変わる。

上機嫌の時は、「あなたの言うことは正しい」などと言う。「これはキミへのプレゼントだよ」とやさしく言われることもある。雲行きが怪しくなると、「アンタがやったことだろう」と、わたしを責める。そして極めつきは、「おまえなんか、ここを出ていけ！」

結婚して46年、ここは、わたしの城。

「出ていくのは、あなたでしょ!!」

いつもは!



でも、ときどき!



みんなの広場

なつやす ちゆう りよう
「夏休み中のサロンの利用について」

今学期の日本語学習会は、7月19日(水)で終わります。新学期は、9月1日(金)からはじまります。

サロンは、7月20日(木)から8月31日(木)まで夏休みになります。その間、以下の日程で自由に学習ができます。

日程：7/20～8/31の月曜・水曜・金曜日

*7/26(水)午前と8/25(金)は使えません。

時間：午前10時から午後4時まで

場所：第1会議室 (サロン事務局の隣の部屋)

学習を希望する方は、事前に学習日をサロン事務局に届け出てください。

また、サロン事務局は、夏休みの間、月曜から金曜の毎日、午前10時から午後4時まで開いています。

第1会議室、事務局とも、ぜひご利用ください。

(編集部)

「サロン講演会のお知らせ」

吉開章氏(株式会社・電通)を講師にお招きし、サロンのボランティア、学習者、そして市民を対象に、下記のテーマと日程でサロン講演会を開催いたします。

テーマ：「やさしい日本語で国際交流。英語でなくて、いいんです。」

～やさしい日本語ツーリズム研究会の挑戦～

日時：7月8日(土) 午後2時～4時

場所：サロン3階 第2会議室(学習会の部屋)

参加は無料です。多数のご参加をお待ちしています。

(編集部)

せいかつじょうほうし えんぶ
生活情報支援部より!

へんしゅうこうき
～編集後記～

「おはなし会」

日時：7月26日(水) 午前10時～12時

場所：サロン3階 第1会議室

夏休みに、お子さんと一緒に楽しいおはなしを聞きましょう。

託児の先生でおなじみの須山さんは、「語りの会」を主宰しています。他の託児の先生たちと一緒に「おはなし会」をしていただきます。

申込締切日7月19日(水) 事務所まで。無料。
この日は、何か困ったことがあれば、相談もできます。

私が子どもの頃は、外食といえば、和食、洋食、ラーメンぐらいしかありませんでした。

現在、サロンの周りには、イタリア料理、中華料理、インド・ネパール料理、タイ料理、韓国料理など多くの国の料理店が立ち並んでいます。

これは、日本と多くの国々との交流が盛んになった証拠ですね。

このサロンでも、多くの国々から学習者が集い、一緒に楽しい時間を過ごしています。これはとても平和なことだと思うのです。

「平和でゆったりとした居心地のよい場所」であることが、サロンの一番大きな役割かな…と改めて思う今日この頃です。
(高柳)

「エコバザーのお知らせ」

日時：10月2日(月) 12時～15時30分

場所：サロン3階 第1会議室

昨年まで、「不用品交換会」として、ご家庭で不要なものを寄付していただき、欲しい方に差し上げていました。「交換」というと、自分が持ってこなかった方が参加しなかったもので、今年は「エコバザー」と名前をつけました。

新品、または新品に近いきれいなものを寄付してください。衣類と賞味期限を過ぎた食品は、寄付出来ません。

夏休みの間に、ご家庭のかたづけをして、9月11日～25日(月)にお持ちいただけると、うれしいです。よろしく願いいたします。

えてがみ
(絵手紙)



ラン (フィリピン)

【編集】会報部会/和田、堤林、高柳、
篠塚、坂倉、増田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

